

助役、収入役の 選任について

問 6月議会に於て、9月頃には何とかと言われたので、再度考えを伺う。又県の方への相談を提案していたのでどうなったのか伺う。

答 9月頃には何とかと思いい努力してきたが、選任について、地域バランスとか職員指導、いろいろ考える中で、現時点においては、整理が出来ていないのが現状である。又県の方へお願いする場合、どういう形、考えていいのか相談をした。

問 合併をして半年が過ぎた訳だが10ヶ年計画を2年間かけてと言われるが、国の制度改革が急ピッチで進む中、全てに関して、迅速な対応を図るためにも、又一刻も早く円滑な町政運営を図るためにも早くお考えを頂きたい。



人により、年間を通じて活発な活動が続けられております。

菊水地区においても、同様な総合型地域スポーツクラブの設立準備が始まると聞いておりますが、その取り組みの現状と今後の条件整備について伺います。

答 既に三加和地区では『みかわだつでんクラブ』という名称で組織を立ち上げて活発な活動が展開されていますが、この組織は自らの健康保持、体力の向上、青少年の非行防止、子ども達の居場所づくり、人と人とのコミュニケーションの場づくり等を自分達の手で自主運営しながら活動する素晴らしい趣旨をもった組織であります。

これまで三加和地区では、組織の独り立ちを促進するために、熊本県や町行政の指導や補助金等を受けながら、独自の予算を組み今日まで頑張つてこられた経緯がありますが、すでに隣りの南関町でも総合型地域スポーツクラブが立ち上がっておりますので、菊水地区としてもそれに



小山 暁議員

『おくやみ』の周知・伝達に無線や通信施設を活用できないか！

問 本町の広報・緊急時の伝達手段として、防災行政無線やオフトーク通信施設が住民相互のコミュニケーションの充実に多大な貢献をしているが、住民サービスの観点から『おくやみ』の周知・伝達に無線及びオフトークの活用はできないか。

答 隣りの南関町では、実施されていると聞いていますが、今後区長会等にお諮りしながら、検討してみたいと思います。

ムラづくり運動の現状について

問 合併により行財政の効率化が進む中で、地域の一体性や地域住民の連帯感が薄らぐこと

向かって立ち上げようと思っています。

ただし、大きな成果がある反面、最近会員の減少傾向が見られることや資金面でのやや行き詰まり現象が出てきており、軌道修正しなければならぬ部分も見受けられますが、ゆくゆくは一緒になる方向で努力していきたい。当面は、地域性の違いもあるために慎重に、しかもできるだけ早くという態度で現状をよく見ながら取り組んでいきたいと思っています。資金面だけでなく行政としての援助もしていきたいと思っています。

町の観光振興策の動きが見えてこないがどうなっているのか？

問 地域外との多彩な交流を通して、農林業をはじめとする地元産業を交流型に移行させ、地域の文化資源に新しい光をあてながら、農家が工夫を凝らした独自の取り組みやゆとりある素朴な田舎の暮らしを体験でき

のないよう和水町においても継続して『町民との協働によるまちづくり運動』が進行中だと思

います。現状はどうなっているのか。又、これからの和水のまちづくりの青写真を描いているのは、行政であり、地域住民であるということを確認していただき自分達のものさしで誇りある地域、和水町を創造していくことが今強く求められており、そのためには是非とも現状の66行政区を19ないし20のエリアに再編することを提案したい。そのための財政的な支援体制についても伺いたい。

答 今年度は、地域の個性や特性を活かした住民主体の地域づくりを進めるために、町民や職員を対象とした講演会や研修会・視察研修等を計画している。なお、支援策としては地域づくり支援助成制度を設けて、活動にかかる経費の一部を助成する財政的な支援を今後しっかり推進していきたい。提案いただいた組織の再編については、三加和の里づくり先進事例を参考にま

る通年型の農村観光振興は『活力と賑わいのあるまちづくり』の主要施策の一つとなっているが、その中でも地域限定で規制を緩和する構造改革特区に認定を受けた農家民泊開業や濁酒製造についての取り組みが全然見えてこないが、現在どのようになっているのか、又計画があればその内容について伺いたい。

答 構造改革特区を受けた農家民泊の開業や濁酒（どぶろく）製造業については、これまで住民説明会や受入れ側の出前講座或いは農家民泊モデル事業等を計画的に実施してきた経緯がありますが、受入れ側の負担等が大きいこと等の理由により、現在この特区事業については停滞しているのが現状であります。

現在、三加和地区では、里づくり運動を展開しています。が、その中でも酒造会社と提携し、地酒づくりや田植えから稲刈りまでの農業体験やいちご狩りツアー等地域の特色を活かした運動を展開しています。今後も行政主導でな

ちづくりに努力していきたい。



ひだまりの里・野田区／日本一づくり運動『彼岸花と案山子102本』農道（約500m区間）

職員の不祥事に対する再発防止策について

問 和水町職員による公金横領事件並びに旧三加和町でのカラ出張問題が明らかになるなど相次いで発覚した事件に対し行政の長としてのどのように受け止めておられるのか、又町民への信頼回復や再発防止のための対策について伺いたい。

更に、今後二度とこのような不祥事を起こさないために役場内に職員の行動基準を定めた新たな綱紀肅正のための基本指針なるものを策定したらどうかと考えるが。

く、地域の人を中心となって運動を展開していけば、特区事業の計画もできるのではないかと思います。今年からは、農家の方ばかりでなく飲食業も含む商工会員に対しても対象を広げ、濁酒（どぶろく）特区の研修会を実施しています。今後、企画室を中心に経済課との調整をしながら前向きに推進していきたいと思っています。



多賀 勝丸議員

行政懇談会について

問 合併して最初の行政懇談会が8月に町内2ヶ所で開催されたが、出席者が少なかったようだ。町長は行政座談会等を通して、対話を中心に政策等の情報を公開して、町民の理解と協力が得られるような住民への説明責任を果たしたいと言っておられるが、町内2ヶ所であく

答 町内の各種会合を通じて事件の内容説明と今後の綱紀肅正並びにご心配・ご迷惑をおかけしました町民の皆様への謝罪を行つてるところ

です。職員に對しましては全庁的に綱紀肅正を促し、不祥事の再発防止の徹底に努力して参りたいと思つております。又、今後二度とこのような事件が起きないようにするためにも、懲罰基準等の見直しが必要であれば、見直していきたいと考えております。

なお、職員に対する再発防止策として、綱紀肅正のための資料を現在策定しています。

菊水地区にも総合型地域スポーツクラブの結成を！

問 すでに三加和地区では総合型地域スポーツクラブ『だつでんクラブ』を結成して以来、この10月で丸2年目を迎えますが、昨年1年間の実績は、18教室に参加した延べ人数が、子どもからお年寄りまで合わせて6647

今後は各校区ごとの懇談会等は考えておられるのか。

答 御指摘のとおり、政治姿勢は対話による町づくりを掲げている。先日の行政懇談会は合併後、初めての懇談会であり、私の施政方針、今年度の予算の概要を説明し町民の皆様の意見を聞く事を目的として実施した。その後、課長会を開催、今後の懇談会について、全職員に意見を聞いたところ、56名の回答中、中学校校区単位17名、小学校校区単位26名であった。今後は、小学校校区単位が適切なあり方と理解して前向に小学校校区単位で行政懇談会を行うように努力したい。



行政懇談会